

メタデータの管理

「Tableau でのメタデータの管理」のトレーニングへようこそ。

付属のワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

メタデータの編集

Tableau では、データの変更をデータソースに反映させることはできません。ただし、データペイン内でメタデータを変更し、Tableau で使用することができます。このメニューには多数の機能が用意されています。ここでいくつかの例を紹介します。

注文の優先度のような必要のないフィールドは非表示にできます。このデータセットは既に多くのフィールドが非表示になっています。

- フィールドの名前は変更することができます。ゆっくりと 2 回クリックしてください。これを「出荷日」としましょう。
- 階層は、下位フィールドを上位フィールドにドラッグするだけで作成できます。これに「製品」という名前をつけます。
 - フィールドの追加は、適切な場所にドラッグして行います。
 - ドラッグで順番の変更もできます。
- こうすることで、ビュー内でのドリルダウンが可能になります。
- フォルダーは、右クリックして [グループ化] > [フォルダー] を選択して作成することもできます。
 - そしてもう一度右クリックして [フォルダー] > [フォルダーの作成] を選びます。
 - このフォルダーに「顧客」という名前をつけます。
 - 次に、別のフィールドをこのフォルダーにドラッグします。
- デイメンションやメジャーのリストが長くなったときは、折りたたむとすっきりします。
 - Tableau では、フィールドがフォルダー内にあっても、検索できる機能があるので、知っておくと便利です。
- データ型も変更できます。たとえば、[行 ID] を数値から文字列に変更することができます。
- また、[マーケット] などのフィールドを [色] ヘドラッグし色を編集するだけで、デフォルトの色を割り当てることができます。ここで選択した色は、次回フィールドを使用するときまで保存されています。

メジャーを右クリックして [既定のプロパティ] を選択すると、次のような機能がここに階層化されていることが分かります。

- コメントの追加
- 既定の数値形式の編集
- 既定の集計方法の変更
- [割引] フィールドの上にカーソルを置くと、そのフィールドに追加されているコメントが表示されます。[割引] をビューにドラッグすると集計タイプが規定の合計ではなく平均になり、ラベルをオンにするとパーセントとして表示されることが分かります。

ここで重要なのは、これらはすべてデータ接続で定義されているということです。参照元のデータが実際に変更されるわけではありません。

Tableau Server または Tableau Online からパブリッシュ済みデータソースを使用する場合、階層や別名、計算などの既存のメタデータの編集や削除はできませんが、作成中のワークブックで使用する新しい計算の作成のようにメタデータを拡張することはできます。この変更は、元のデータソースに反映されることはありません。

データ接続の編集

データ接続ウィンドウに戻るには、[データソース] タブをクリックしてください。データソースに再接続するよう表示される場合があります。

また、データ接続を変更する必要がある場合は、データソースを右クリックしてメニューを表示します。

- このメニューでいつでも、次のようなデータ接続の設定や操作を行うことができます。
- 接続名の変更
- 抽出のオンとオフの切り替え、抽出の更新
- データソースフィルターの作成や編集
- データソースのパブリッシュ
- データソースの保存

データソースのパブリッシュや保存に関する詳細は、そちらのビデオをご覧ください。

抽出に関する詳細は、「抽出の管理」のトレーニングビデオをご覧ください。このビデオは引き続きこのワークブックを使用します。

まとめ

「メタデータの管理」のトレーニングビデオをご視聴いただき、ありがとうございます。Tableau の使用方法について、引き続き無料のトレーニングビデオをご覧ください。